

第2期沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業 KPI一覧（全76事業）

資料2-3

| No. | 事業名                      | 担当課                     | 数値目標                            | 基準値（R1）           | R3実績値          | R4実績値          | R5実績値        | R6実績値          | R7実績値          | 評価<br>（対基準値） | KPI<br>（重要業績評価指標R7） | 評価<br>（対KPI） | R7取組内容                                                                                                                                                          | R7実績値が基準値から悪化した理由／<br>KPI達成に至らなかった理由                    | KPI達成に向けての今後の取組・認識について                                                                                                             |
|-----|--------------------------|-------------------------|---------------------------------|-------------------|----------------|----------------|--------------|----------------|----------------|--------------|---------------------|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 力強い産業を育て魅力ある雇用を創出する      |                         |                                 |                   |                |                |              |                |                |              |                     |              |                                                                                                                                                                 |                                                         |                                                                                                                                    |
| 1-1 | 地場産品の競争力強化と地域経済の活性化      |                         | 販路開拓等に取り組んだ商品の売上高対前年度比率         | 未実施（R2）           | 集計初年度          | 対前年度比<br>114%  | 対前年度比<br>99% | 対前年度比<br>113%  | 対前年比<br>82%    | 🔴            | 対前年度比<br>120%       | 🔴            |                                                                                                                                                                 |                                                         |                                                                                                                                    |
| ①   | 産業間連携による地域資源の活用（物産振興の推進） | 産業政策課、商工振興課、農林農地課、水産海浜課 | 販路開拓等に取り組んだ商品の売上高対前年度比率         | 未実施（R2）           | 集計初年度          | 対前年度比<br>114%  | 対前年度比<br>99% | 対前年度比<br>113%  | 対前年比<br>82%    | 🔴            | 対前年度比<br>120%       | 🔴            | ・効果的な情報発信の実施（6/7大阪万博出展・11/8-9LOVE NUMAZU・11/22上田市出展・12/14農林まつり）<br>・マーケティング等ブランド化品販促支援（4/1～PR動画活用・4漁協県外販売拡大支援補助・11/15一水産品料理教室）<br>・ブランド化に向けた商品開発の支援（物産開発研究助成3件） | ECサイトによる販売を積極的に実施したが、漁獲量や生産量が減少し、販売量が減少したため。            | 農水産物のブランド化、活用、販路拡大に向け、引き続き庁内関係部署との連携を図るとともに、JAや漁協等の外部機関、生産者、支援機関なども情報共有を進め、事業展開していく。                                               |
| ②   | 地産地消の総合的な推進              | 農林農地課                   | 学校給食へ地場農産物を提供する農家数              | 138戸              | 146戸           | 152戸           | 198戸         | 178戸           | 142戸           | 🔵            | 152戸                | 🔴            | 11品目の地場農産物導入を実施                                                                                                                                                 | 資材高騰や異常気象により、農家数が減った。                                   | 関係機関との情報共有を行い、収穫状況に応じて臨機応変に対応する。                                                                                                   |
| ③   | 沼津の農産物振興                 | 農林農地課                   | 茶生産量                            | 788t              | 727t           | 693t           | 629t         | 609t           | 621t           | 🔴            | 900t                | 🔴            | ・沼津茶100杯サービス、お月見茶会、山カフェなど、お茶関係イベント開催を通じた沼津茶の消費拡大推進<br>・みかんの優良品種転換促進に向けた苗木補助等を実施                                                                                 | 依然として、茶の価格は低く、茶の需要は伸びやんでいるため、基準値に比べ茶生産量が低くなった。          | 「お茶」「みかん」を中心に安定した生産量の確保、また品質向上や消費拡大に向けて生産者・関係団体等を支援していく。                                                                           |
| ④   | 水産業振興の推進                 | 水産海浜課                   | 4漁協と沼津魚市場(株)の水揚げ(取扱)量           | 91,582t           | 104,509t       | 79,885t        | 71,534t      | 73,057t        | 79,228t        | 🔴            | 94,000t             | 🔴            | 市内漁業者を対象とした出漁・流通促進等の支援、漁協等が実施する魚食普及事業への支援、市水産物のPR活動、販路拡大・ブランド化の推進、PR動画の公開・活用                                                                                    | 海水温や海流などの海洋環境の変化や、コストの高騰・担い手不足等によって漁獲量が増加しないため。         | 魚食普及や地産地消、流通の促進や販路拡大に向けた取組を推進し、地域経済を支え、本市を代表する地場産業である水産業の振興を図る。                                                                    |
| 1-2 | 新たな仕事づくりと雇用の創出           |                         | 新規に創出した従業者数                     | 101人              | 141人           | 178人           | 204人         | 201人           | 225            | 🔵            | 160人                | 🔵            |                                                                                                                                                                 |                                                         |                                                                                                                                    |
| ①   | 公民連携リノベーションまちづくりの推進      | まちづくり政策課                | 事業を通じて増加した従業者数                  | 57人               | 83人            | 99人            | 113人         | 121人           | 136人           | 🔵            | 90人                 | 🔵            | 事業を通じて地域課題の解決を目指す企画「企業版リノベーションスクール」を実施した。また、空き物件を活用したまちなか居住トライアルを行い、エリアの魅力向上や居住促進に向けた課題の整理を行った。                                                                 |                                                         | 当初目標は達成。新たなまちづくりの担い手として企業に対する働きかけを進める中で、これら企業と既存のまちづくりプレイヤーとの連携した動きが生まれるよう引き続き取組を進める。                                              |
| ②   | 起業創業支援                   | 商工振興課                   | めまづビジネスサポート連絡会の支援により新規に創業した事業者数 | 44件               | 58件            | 79件            | 91件          | 80件            | 89件            | 🔵            | 70件                 | 🔵            | 沼津地域中小企業支援センター運営事業、知的財産活用事業、ターゲット別起業セミナー開催、女性起業家連携醸成としての講演会開催、創業支援等事業計画の変更認定（特定創業支援等事業の拡大）により、起業にかかるとのファーストステップ相談窓口を拡大し、起業者数増加に向けた支援体制を強化した。                    |                                                         | 創業支援ネットワーク（めまづサポ）の連携強化を進め、ワンストップ相談窓口の拡充（沼津信用金庫・日本政策金融公庫を追加）を図る。ターゲット別起業セミナーにおいては、中・高校生を対象にしたセミナーを開催し、スモールビジネス、スタートアップ起業の裾野を拡大していく。 |
| ③   | まちなか商業リブランディングの推進        | 商工振興課                   | 中心市街地歩行者数                       | 45,250人（R2）       | 42,703人        | 45,707人        | 51,858人      | 58,941人        | 54,978人        | 🔵            | 80,000人             | 🔴            | 沼津駅北口エリアにてリブランディング企画塾を開催。エリア内の個店とエリアの魅力を発信した。                                                                                                                   | コロナ禍以降、歩行者通行量は回復基調となっていたが、猛暑等の影響で調査基準日（7月）において影響を受けている。 | 引き続きリブランディング企画塾を開催する。対象エリアを中心市街地とし、エリアブランディングとともにまちなかの回遊性向上を図る。                                                                    |
| 1-3 | 地域産業を担う人材の確保・育成          |                         | 従業者数                            | 101,160人（H28）     | —              | 100,460人（R3）   | —            | —              | 95,685人（R6）    | 🔴            | 110,000人            | 🔴            |                                                                                                                                                                 |                                                         |                                                                                                                                    |
| ①   | 沼津しごとの応援                 | 商工振興課                   | 本事業により市内企業に就職した数                | 12人               | 25人            | 20人            | 21人          | 16人            | 28人            | 🔵            | 延べ100人              | 🔵            | 沼津しごと応援サイト「めまづjob」の運営、合同就職面接会の開催、学内就職説明会の開催、キャリアデザイン相談センターの設置、学生・新卒者向け支援事業（奨学金返還支援事業）を実施したほか、新たに、富士市と連携した就職面接会を開催した。                                            |                                                         | 令和7年度は、KPIの基準を超えることができた。今後も、引き続き、他市町と連携するなど、各種施策に取り組み、就労支援に努める。                                                                    |
| ②   | 農業改革の推進                  | 農林農地課                   | 農地集積の面積                         | 45.2ha<br>※単年度ベース | 26.8ha         | 20.4ha         | 19.7ha       | 23.2ha         | 31.9ha         | 🔴            | 150ha<br>※累計        | 🔴            | 農用地利用集積計画の策定（毎月 全12回）後、農地集積を実施                                                                                                                                  | 新規利用（借り手）の利用面積減少しているため、基準値・KPIに比べ農地集積の面積が低くなった。         | 本制度の利用拡大に向け、各地区の担い手（認定農業者など）確保に向けたPR活動等を実施していく。                                                                                    |
| ③   | 男女共同参画の推進                | 地域自治課                   | 男女共同参画推進事業初認定数                  | 91事業所（R2）         | 97事業所          | 103事業所         | 108事業所       | 111事業所         | 118事業所         | 🔵            | 115事業所              | 🔵            | 推進事業所の広報と認定を滞りなく行うとともに、関係機関と連携し情報発信を行った。次年度に向け、事業所のメリット創出について関係機関と協議を行った。                                                                                       |                                                         | 達成に向けて、引き続き認定事業所の活動紹介の機会を増やすとともに、関係機関と連携し情報発信を行っていく。                                                                               |
|     |                          |                         | 市審議会等への女性登用率                    | 女性登用率<br>29.2%    | 女性登用率<br>30.5% | 女性登用率<br>30.7% | 女性登用率<br>29% | 女性登用率<br>29.2% | 女性登用率<br>29.7% | 🔵            | 女性登用率<br>35%        | 🔴            | 各審議会等の運営が適正に行われるよう、指針の周知徹底を図った。事前協議の書類が提出された際、その都度、積極的な女性委員の登用等について指導を行った。                                                                                      |                                                         | 女性候補者の不足や女性が参画しやすい環境づくりが途上のため。                                                                                                     |
| ④   | 人材の育成（企業創業支援）            |                         |                                 |                   |                |                |              |                |                |              |                     |              |                                                                                                                                                                 |                                                         |                                                                                                                                    |
| 1-4 | 立地環境を活かした企業誘致            |                         | 年間企業立件数（補助制度活用による）              | 2件                | 9件             | 4件             | 8件           | 4件             | 10件            | 🔵            | 延べ50件               | 🔵            |                                                                                                                                                                 |                                                         |                                                                                                                                    |
| ①   | 企業立地の促進                  | 産業政策課                   | 年間企業立件数（補助制度活用による）              | 2件                | 9件             | 4件             | 8件           | 4件             | 10件            | 🔵            | 延べ50件               | 🔵            | 企業立地促進助成、医療関連産業集積促進助成、中小企業設備投資促進助成、本社異能移転拡充助成、ITオフィス等進出助成制度の運用、企業誘致活動の推進                                                                                        |                                                         | ・情報発信活動の促進<br>・民間主導による工業用地整備の支援<br>・市街化調整区域の開発基準規制緩和策のPR                                                                           |
| ②   | 農業団地事業構想（農業改革の推進）        |                         |                                 |                   |                |                |              |                |                |              |                     |              |                                                                                                                                                                 |                                                         |                                                                                                                                    |
|     | 【再掲】 1-2-②               |                         |                                 |                   |                |                |              |                |                |              |                     |              |                                                                                                                                                                 |                                                         |                                                                                                                                    |
|     | 【再掲】 1-3-②               |                         |                                 |                   |                |                |              |                |                |              |                     |              |                                                                                                                                                                 |                                                         |                                                                                                                                    |

第2期沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業 KPI一覧（全76事業）

資料2-3

| No.                                  | 事業名                 | 担当課                  | 数値目標                                   | 基準値（R1）          | R3実績値            | R4実績値            | R5実績値            | R6実績値            | R7実績値            | 評価<br>（対基準値） | KPI<br>（重要業績評価指標R7）  | 評価<br>（対KPI） | R7取組内容                                                                                                                                | R7実績値が基準値から悪化した理由／<br>KPI達成に至らなかった理由                                                                                        | KPI達成に向けての今後の取組・認識について                                                                                                                                                                     |
|--------------------------------------|---------------------|----------------------|----------------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------------|----------------------|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2 沼津への新しいひとの流れをつくる                   |                     |                      |                                        |                  |                  |                  |                  |                  |                  |              |                      |              |                                                                                                                                       |                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                            |
| 2-1 まちなか居住の推進と都市的魅力の向上               |                     |                      | 中心市街地歩行者数                              | 45,250人<br>（R2）  | 42,703人          | 45,707人          | 51,858人          | 58,941人          | 54,978人          | ↑            | 80,000人              | ↓            |                                                                                                                                       |                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                            |
| ①                                    | 沼津駅周辺総合整備           | 推進課、整備課、沼津駅周辺区画整理事務所 | 片浜西沢田線の整備                              | Okm              | Okm              | Okm              | Okm              | Okm              | Okm              | →            | 0.9km<br>（R8）        | ↓            | 片浜西沢田線道路築造工事                                                                                                                          | 工事未完了であり、供用開始後に実績値を入力することとしているため。                                                                                           | 引き続き整備を進めていく                                                                                                                                                                               |
|                                      |                     |                      | 移転先周辺の基盤整備                             | Oha              | Oha              | Oha              | Oha              | Oha              | Oha              | →            | 3.5ha<br>（R8）        | ↓            | 新貨物ターミナル調整池築造工事、新車両基地調整池築造工事                                                                                                          | 工事未完了であり、供用開始後に実績値を入力することとしているため。                                                                                           | 引き続き整備を進めていく                                                                                                                                                                               |
| ②                                    | 総合体育館等の整備           | ウイズスポーツ課             | 総合体育館の年間利用者数                           | 241,398人         | —                | 23,964人          | 294,994人         | 319,561人         | 330,069人         | ↑            | 400,000人<br>（R5年度以降） | ↓            | 各種スポーツ教室、大会の開催、沼津NEXTスポーツフェスタ開催、プロスポーツ（Vリーグ、Bリーグ）興行、イカイクリスマスカップ開催。スポーツ合宿の誘致                                                           | KPIの設定が高すぎたため。体育館の開設後、利用者数は毎年増加しており、将来KPIを達成する可能性はある。                                                                       | 参加しやすい教室やイベントの展開や、魅力的な興行の開催、大会や合宿の誘致により、利用者の増加を図る。                                                                                                                                         |
| ③                                    | 市街地再開発等の推進          | 市街地整備課、まちづくり政策課      | 中心市街地における居住人口の拡大（大手町2～5丁目、上土町、通横町、町方町） | 1,600人<br>（R2）   | 1,575人           | 1,533人           | 1,439人           | 1,404人           | 1,371人           | ↓            | 2,020人               | ↓            | 市街地再開発事業（組合施行）の進展に伴う適切な助言・指導。町方町・通横町第一地区において、R7年10月から新施設の建設工事開始。<br>大手町5丁目第一地区において、街区測量、基本設計等を実施。                                     | 数値目標としている居住人口の拡大は、各再開発事業の完了をもって得られる成果であるため、事業中の時点において事業評価が得られない。                                                            | 町方町・通横町第一地区第一種市街地再開発事業の事業完了は令和10年度の予定。マンションの販売開始等にあわせ、市外・県外を中心に周知を図り、人口拡大につなげていく。                                                                                                          |
| ④                                    | 中心市街地まちづくり戦略        | まちづくり政策課             | 中心市街地歩行者数                              | 45,250人<br>（R2）  | 42,703人          | 45,707人          | 51,858人          | 58,941人          | 54,978人          | ↑            | 80,000人              | ↓            | 歩行者利便増進道路（ほこみち）に指定された（都）三枚橋錦町線のイーラde前区間にベンチ等を設置し、新たな滞留空間を創出したほか、西武百貨店本館跡地において拠点施設と広場を組み合わせた新たな賑わい拠点の整備に着手した。                          | コロナ禍以降、歩行者通行量は回復基調となっていたが、猛暑等の影響で調査基準日（7月）において影響を受けている。                                                                     | 駅前公共空間の再編に向けた取り組みや、中央公園等の周辺地域資源との連携強化に関する検討を進め、ヒト中心のまちづくりを推進していく。                                                                                                                          |
| ⑤                                    | 公共交通ネットワークの形成       | まちづくり政策課             | 公共交通利用者数                               | 45,837人<br>（H30） | 32,995人<br>（R2）  | 35,133人<br>（R3）  | 37,686人<br>（R4）  | 39,812人<br>（R5）  | 40,492人<br>（R6）  | ↓            | 45,900人              | ↓            | 沼津市地域公共交通計画の計画期間満了に伴い、第2次計画の策定を行うとともに、KPIである公共交通利用者数の目標値の見直しを行った。<br>また、公共交通の利用促進策としては、高齢者向けのモビリティマネジメントパンフレット作成や高齢者向けの乗り方教室を実施した。    | 基準値は、コロナ以前の公共交通利用者数であり、コロナ禍に外出の頻度が減ったことで、一時的に利用者数が落ち込み、回復基調にはあるが、対KPIにおいても基準値に達しなかった。                                       | 公共交通利用者は、前年と比較し、利用者が徐々に回復傾向にあるものの、コロナ前の水位まで戻り切っていない。そのため、第2次沼津市地域公共交通計画に示す事業（西部地区の路線再編やモビリティマネジメント等）を行い、交通ネットワークを維持や公共交通の利用促進を行うことで、利用者数の増加につなげる。                                          |
| ⑥                                    | 公民連携リノベーションまちづくりの推進 | 【再掲】 1-2-①           |                                        |                  |                  |                  |                  |                  |                  |              |                      |              |                                                                                                                                       |                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                            |
| ⑦                                    | まちなか商業リブランディングの推進   | 【再掲】 1-2-③           |                                        |                  |                  |                  |                  |                  |                  |              |                      |              |                                                                                                                                       |                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                            |
| ⑧                                    | 文化財の保存活用            | 文化政策課                | 利用者数                                   | 18,000人          | 6,000人           | 8,300人           | 12,000人          | 11,500人          | 12,500人          | ↓            | 32,000人              | ↓            | 重要文化財松城家住宅の一般公開、指定管理者による自主事業や企画展などを実施<br>・長浜城の一般公開、開園10周年記念事業として講演会、体験講座を実施<br>・帯美園の一般公開、花の鑑賞会や育て方教室など季節に合わせたイベントを実施                  | ・指定管理者等が各施設ともに年間を通じて企画展やイベントなど工夫を凝らして積極的に取り組んでいるが、基準値並びにKPIに達しない理由として、若年層への働きかけなど文化財に興味関心をもつ人の裾野を広げる取組の不足や周知方法の固定化などが考えられる。 | ・文化財の周辺環境を含めた周遊のための仕組みづくりや、効果的な周知方法を検討する必要がある。<br>・文化財に興味をもつきっかけとなるよう他分野と組み合わせたイベントなどを検討する。                                                                                                |
| 2-2 “ぬまづ暮らし”の発信による住み替えの促進、関係人口の創出・拡大 |                     |                      | 社会移動数                                  | 535人             | △512人            | 173人             | 68人              | 133人             | 344              | ↑            | 転入超過維持               | ↑            |                                                                                                                                       |                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                            |
| ①                                    | ぬまづ暮らしへの住み替えの促進     | ぬまづプロモーション課          | 事業を通じた移住者数                             | 18人              | 38人              | 185人             | 345人             | 338人             | 364人             | ↑            | 延べ125人               | ↑            | 相談受付、首都圏での移住相談会出席、市単独移住相談会開催、市内タクシー無料案内、他市合同バスツアー開催、官民連携体制での移住支援、インターネット広告配信、移住を支援する補助金交付、LINEによる移住相談、移住者交流会の開催                       |                                                                                                                             | 移住者獲得のためには官民連携での情報発信が重要である。共催イベントや意見交換の実施など体制を強化していく。                                                                                                                                      |
| ②                                    | 沼津の魅力発信の推進          | ぬまづプロモーション課          | ぬまづの宝100選の市民認知度                        | 53.9%<br>（H28）   | 60.1%            | 61.2%            | 49.9%            | 62.8%            | 63.8%            | ↑            | 100%                 | ↓            | 「ぬまづの宝100選」を中心としたシティプロモーション<br>・市内巡回パネル展の開催（R5から継続）<br>・100選巡回バスツアーの企画・開催（R6から継続）<br>・広報ぬまづ、FMラジオ放送とのタイアップ（R6から継続） など                 | 認知経路が広報ぬまづ中心となっており、広報ぬまづを読む機会が少ない若年層へ情報が十分に届かなかったと考えられる。今後はSNSなども利用して継続して周知を行い、着実に認知度を高めていく。                                | 「ぬまづの宝100選」の市民認知度は63.8%（R7市民意識調査）で前年度と比較して1.0ポイント上昇したが、年代別において20代の認知度が50.7%と最も低い状況にあることを念頭に、計画業務を実施する際には各種SNSを活用した情報発信を行うなど、複合的なプロモーションを展開していく必要がある。                                       |
|                                      |                     |                      | 市HP「フォト＆ムービーライブラリー」閲覧数                 | 月平均<br>1,589アクセス | 月平均<br>2,483アクセス | 月平均<br>3,034アクセス | 月平均<br>1,901アクセス | 月平均<br>1,325アクセス | 月平均<br>2,151アクセス | ↑            | 月平均<br>3,000アクセス     | ↓            | 新設した花とみどりのカテゴリを中心に掲載点数を161点増やした。                                                                                                      | 新たなカテゴリの追加や新しい写真の追加を実施した結果、全体の掲載写真数が増えてしまっており、更新情報が目立ちにくくなっている。また、本コンテンツについては、市内外への周知が足りないと思われるため、SNSなどを活用して周知を行っている。       | 掲載点数は増加している一方、古い画像も散見されるので情報の追加だけでなく更新が必要である。                                                                                                                                              |
| ③                                    | 観光プロモーション           | 観光戦略課                | 観光交流客数                                 | 436万3千人          | 243.0万人          | 327.5万人          | 366.3万人          | 344.1万人          | 350万人（見込）        | ↓            | 600万人                | ↓            | ・首都圏PRの積極的な実施<br>・沼津市観光振興ビジョンの見直し                                                                                                     | 数値は上昇傾向にあるが、パンデミック前の基準には戻っていない。                                                                                             | 選択と集中を進め、適切なマーケットに対してのPRに取り組む。                                                                                                                                                             |
| ④                                    | ふるさと納税の推進           | 産業政策課、政策企画課          | ふるさと応援基金寄附金寄附件数                        | 15,963件          | 95,420件          | 194,265件         | 374,359件         | 359,671件         | 327,365件         | ↑            | 35,000件              | ↑            | ・返礼品レシビの作成<br>・新規ポータルサイトの追加（マイナビほか8サイト）<br>・イベントブース出展（ふるさとチョイスほか）<br>・沼津市返礼品PRテープ、広告の作成<br>・ふるさと納税ロゴマーク看板設置（OPEN NUMAZU PARKLETほか3箇所） |                                                                                                                             | 度重なる制度改正及び寄附獲得に向けた自治体間の競争が激しくなる中、事業者の理解・協力が必須であり、また、リピーターの確保しつつ、新規寄附者の獲得、本市の認知度拡大を図っていく必要があると考える。<br>事業者支援セミナーの開催、返礼品の新規開拓やブラッシュアップの継続、本市の特産品や技術などの魅力を効果的なPR等を通じ本市のプロモーション活動にも引き続き取り組んでいく。 |
| ⑤                                    | 中央公園等リノベーション        | 緑地公園課、まちづくり政策課       | 民間事業者等との連携による公園整備                      | 0か所              | 0か所              | 0か所              | 0か所              | 0か所              | 0か所              | →            | 計2か所                 | ↓            | 中央公園再整備工事（1期）、高沢公園再整備基本方針策定、パークマネジメント協定等による公園の利活用                                                                                     | 中央公園及び島郷公園の全面供用開始を見込んでいたが、中央公園は国庫補助金の調整により令和8年度末に変更となったため、また、島郷公園は関係者等との協議が進んでおらず整備着手時期が未定となっているため。                         | 中央公園再整備供用開始に向けて民間工事と調整し進めていく。<br>高沢公園再整備に向けた民間活力導入に向けたサウンディング調査等を実施していく。                                                                                                                   |
| ⑥                                    | 空き家対策の推進            | 住宅政策課                | 管理不全な空き家の削減数                           | 延べ168件           | 延べ201件           | 延べ234件           | 延べ297件           | 延べ316件           | 延べ352件           | ↑            | 延べ320件               | ↑            | ワンストップ相談会開催、空家等除却事業費補助金制度等の運用。                                                                                                        |                                                                                                                             | 出前講座開催等により積極的に啓発を行う。                                                                                                                                                                       |

第2期沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業 KPI一覧(全76事業)

資料2-3

| No. | 事業名                            | 担当課       | 数値目標                     | 基準値（R1）        | R3実績値   | R4実績値   | R5実績値   | R6実績値   | R7実績値      | 評価<br>（対基準値） | KPI<br>（重要業績評価指標R7） | 評価<br>（対KPI） | R7取組内容                                                                                              | R7実績値が基準値から悪化した理由／<br>KPI達成に至らなかった理由                                                | KPI達成に向けての今後の取組、認識について                                                                                                                           |
|-----|--------------------------------|-----------|--------------------------|----------------|---------|---------|---------|---------|------------|--------------|---------------------|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2-3 | 観光資源を最大限活用した交流人口の拡大            |           | 観光交流客数                   | 436万3千人        | 243.0万人 | 327.5万人 | 366.3万人 | 344.1万人 | 350万人（見込み） |              | 600万人               |              |                                                                                                     |                                                                                     |                                                                                                                                                  |
| ①   | 観光プロモーション                      | 【再掲】2-2-③ |                          |                |         |         |         |         |            |              |                     |              |                                                                                                     |                                                                                     |                                                                                                                                                  |
| ②   | 深海魚を活用した地域産業の活性化<br>（水産業振興の推進） | 【再掲】1-1-④ |                          |                |         |         |         |         |            |              |                     |              |                                                                                                     |                                                                                     |                                                                                                                                                  |
| ③   | 沼津港みなとまちづくりの推進                 | 水産海浜課     | 来港者入込客数                  | 166万人<br>（H30） | 調査なし    | 調査なし    | 164万人   | 調査なし    | 調査なし       | —            | 178万人               | —            | みなとまちづくり推進計画の推進、県による港湾整備促進（負担金支出）、沼津港振興会の運営、Sea級グルメあじフライたるたるサンドの開発・普及                               | 調査未実施のため。                                                                           | 県が策定した「沼津港みなとまちづくり推進計画」に基づく整備計画の中で、必要となる地元との調整等を実施していく。<br>沼津港の更なるにぎわいの創出のため、あじフライたるたるサンドの普及展開や、浮桟橋及び西側緑地を活用したイベント等を実施していく。                      |
| ④   | イベントの展開とにぎわいの創出                | 観光戦略課     | 観光交流客数                   | 436万3千人        | 243.0万人 | 327.5万人 | 366.3万人 | 344.1万人 | 350万人（見込）  |              | 600万人               |              | ・各種イベントの実施内容、企画の改善                                                                                  | 旅行活動傾向の変化等により、パンデミック前の基準には戻っていない。                                                   | 時代に即したイベント開催の形態、内容の精査に努める。                                                                                                                       |
| ⑤   | 広域観光・MICEの推進                   | 観光戦略課     | 管内でのMICE開催件数             | 26件            | 11件     | 12件     | 17件     | 21件     | 31件        |              | 43件                 |              | ・開催支援制度を活用したプラサヴェルデでのMICE誘致<br>・キラメッセめまつ（指定管理者）との連携によるコンベンションの推進                                    | KPI設定が基準値の165％であり、目標は高かった。年々実績値は上昇しており、R7は基準値を達成している。より広域的に各市町の協力をもとに展開を進めていく必要がある。 | 会議や大会の開催数は増加傾向にあり、補助メニューの周知など参加者数増加につながるように積極的なPRに努める。                                                                                           |
|     |                                |           | 管内でのMICE参加者数             | 12,312人        | 5,591人  | 9,346人  | 6,593人  | 4,434人  | 9,805人     |              | 20,800人             |              | 同上                                                                                                  | 非対面の会議等が定着してきたこともあり、開催件数は増加しているものの、基準値を下回る状況が続いている。                                 |                                                                                                                                                  |
|     |                                |           | 管内でのMICE延宿泊数             | 7,631泊         | 689泊    | 2,215泊  | 1,887泊  | 8,067泊  | 5,110泊     |              | 8,940泊              |              | 同上                                                                                                  | 同上                                                                                  |                                                                                                                                                  |
| ⑥   | 沼津御用邸記念公園の保存活用                 | 緑地公園課     | 来園者数                     | 127,440人       | 36,221人 | 64,858人 | 59,847人 | 59,500人 | 59,152人    |              | 延べ640,000人          |              | クロマツ林の伐採及び林床整備や、旧本邸エリアのトイレ改修工事を実施した。また、指定管理者によるお土産の商品開発等により入園者の消費額増加に力を入れた。                         | 新型コロナウイルス感染症の影響による来園者数の減少後、個人利用者数は戻り傾向にあるが、団体観光利用者が減っていないため。                        | 文化財整備事業のクロマツ林の伐採及び林床整備の継続実施と西附展廊耐震工事、展望地エリアの園路整備の実施を行う。これらの文化財整備事業に加え、観光拠点としての景観の維持・改善や老朽化した建物・設備の修繕・改修工事を行うとともに、団体観光客増加に向けて、指定管理者と共に営業に力を入れていく。 |
| ⑦   | 沼津サイクルツーリズムの推進                 | ウイズスポーツ課  | サイクル拠点施設利用者数             | 2,300人         | 3,828人  | 3,828人  | 3,906人  | 3,412人  | 3,321人     |              | 2,800人              |              | ・サイクルステーション運営、バイシクルピット整備・拡充<br>・広域連携サイクル事業の実施（狩野川サカサ協議会、民間、富士市）                                     |                                                                                     | 持続的・発展的なサイクルツーリズム推進のため、既存の事業者との連携や新たな担い手の発掘・育成に取り組む、民間事業者主導による事業推進を図る。                                                                           |
| ⑧   | フェンシングのまち沼津の推進                 | ウイズスポーツ課  | フェンシング大会及び合宿の開催に伴う観光交流客数 | 0人             | 1,160人  | 1,440人  | 6,000人  | 6,800人  | 1,600人     |              | 延べ450人              |              | ・競技者、支援者の拡大（スマートフェンシング活用）<br>・シンボルフェンサーの育成（インハイメダル獲得、カデ日本代表入り、カデアジア選手権ベスト8、カデ世界選手権ベスト16、ジュニア日本代表入り） |                                                                                     | 市内の選手から日本代表が輩出され、また県外の大学にも合宿利用してもらうなど、F3 BASEを拠点に、「フェンシングのまち沼津」のブランド化が進んでいくことから、施設の利用継続による更なる利用促進を図る。                                            |
|     |                                |           | フェンシングのまち沼津推進協議会会員数      | 0人             | 50人     | 69人     | 69人     | 73人     | 78人        |              | 延べ100人              |              | ・F3 BASE継続利用・拠点施設の方針検討<br>・Proud NUMAZU CUPフェンシング選手権開催及びカナダ選手とのホストタウン交流                             |                                                                                     | また、通年を通じてフェンシングのまち沼津推進協議会の周知拡大を進め、会員拡大を図る。                                                                                                       |
| ⑨   | アスルクラロ沼津のホームタウン活動の推進           | ウイズスポーツ課  | ファミリー会員登録数               | 2,913人         | 2,627人  | 2,397人  | 2,424人  | 2,299人  | 2,398人     |              | 3,400人              |              | ・オールブループロジェクト展開（ホームゲーム周知、SNS発信、まちなか装飾等）<br>・沼津マッチ開催                                                 | コロナ禍で減少した会員数が反転攻勢に至らなかったため。                                                         | クラブと連携し、沼津市を盛り上げていくための施策を展開していく。<br>市民に愛されるクラブとして成長できるよう、更なる応援機運の醸成を図る。                                                                          |
|     |                                |           | ホームゲーム平均入場者数             | 2,470人         | 1,482人  | 1,684人  | 1,961人  | 2,633人  | 3,659人     |              | 3,500人              |              | ・子ども向け無料観戦チケット「アスポート」スポンサー支援<br>・ホーム戦沼津市ブース出張支援<br>・庁内各課とクラブとの連携仲介・調整<br>・総合型地域スポーツクラブの育成支援         |                                                                                     |                                                                                                                                                  |
| 2-4 | 外国人の誘客とおもてなしの充実                |           | 外国人宿泊者数                  | 30,213人        | 1,778人  | 4,542人  | 10,104人 | 22,962人 | 24,827人    |              | 100,000人            |              |                                                                                                     |                                                                                     |                                                                                                                                                  |
| ①   | インバウンドの推進                      | 観光戦略課     | 外国人宿泊者数                  | 30,213人        | 1,778人  | 4,542人  | 10,104人 | 22,962人 | 24,827人    |              | 100,000人            |              | ・台湾を中心としたボリウム層への展開                                                                                  | 数値は上昇傾向にあるが、パンデミック前の基準には戻っていない。                                                     | ゴールデンルート上での立ち寄り、広域での観光誘客に注力するとともに、ボリウム層である台湾との連携に努める。                                                                                            |
| ②   | 広域観光・MICEの推進                   | 【再掲】2-3-⑤ |                          |                |         |         |         |         |            |              |                     |              |                                                                                                     |                                                                                     |                                                                                                                                                  |

第2期沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業 K P I 一覧（全76事業）

資料2－3

| No.                           | 事業名 | 担当課                | 数値目標                   | 基準値（R1）        | R3実績値         | R4実績値         | R5実績値         | R6実績値         | R7実績値         | 評価<br>（対基準値） | KPI<br>（産業業績評価指標R7） | 評価<br>（対KPI） | R7取組内容                                                                                                                                                                                              | R7実績値が基準値から悪化した理由／<br>KPI達成に至らなかった理由                                                                                 | KPI達成に向けての今後の取組・認識について                                                                                                                                     |
|-------------------------------|-----|--------------------|------------------------|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------------|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる      |     |                    |                        |                |               |               |               |               |               |              |                     |              |                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                      |                                                                                                                                                            |
| 3－1 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現 |     |                    | 男女共同参画推進事業初認定数         | 91事業所<br>（R2）  | 97事業所         | 103事業所        | 108事業所        | 111事業所        | 118事業所        | ↑            | 115事業所              | ↑            |                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                      |                                                                                                                                                            |
| ① 男女共同参画の推進                   |     | 【再掲】 1－3－③         |                        |                |               |               |               |               |               |              |                     |              |                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                      |                                                                                                                                                            |
| ② 健康づくりの推進                    |     | 健康づくり課             | メタボリックシンドローム該当者の割合     | 17.9%          | 19.7%<br>（R2） | 19.8%<br>（R3） | 20.7%<br>（R4） | 20.4%<br>（R5） | 20.8%<br>（R6） | ↓            | 17.6%<br>（R6）       | ↓            | 健康経営支援事業の取組として、健康度測定と健康に関する講話を実施し、企業従業員の健康意識向上と健康増進に努めた。<br>さらに、生活習慣病の一次予防を重視し、各種施策を通じて市民が主体的に健康づくりに取組むきっかけを提供したほか、健康づくり関連の週間・月間に合わせたキャンペーン活動を実施し、健康意識の向上を図った。                                      | 市民の健康寿命の延伸を目的として、健康講話や運動教室等の事業を実施しているが、目標達成には至っていない状況である。<br>成果指標については短期間での改善が見えにくい性質があることから、継続的な取組の積み重ねが必要であると考えらる。 | 働き盛り世代の健康意識向上のためには、利用企業の拡充が課題であることから、企業ニーズを踏まえた柔軟な対応により参加しやすい環境の整備を図る。<br>市民が自身の生活習慣を見直すきっかけづくりの機会提供として、誰もが参加しやすい講座やイベントの企画・開催する。                          |
|                               |     |                    | 脂質異常者の割合               | 55.0%<br>（H30） | 56.0%<br>（R1） | 56.3%<br>（R2） | 56.0%<br>（R3） | 54.2%<br>（R4） | 54.1%<br>（R5） | ↑            | 53.5%<br>（R5）       | ↓            |                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                      |                                                                                                                                                            |
|                               |     |                    | 血糖異常者の割合               | 10.3%<br>（H30） | 10.2%<br>（R1） | 10.5%<br>（R2） | 10.4%<br>（R3） | 10.5%<br>（R4） | 10.8%<br>（R5） | ↓            | 9.5%<br>（R5）        | ↓            |                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                      |                                                                                                                                                            |
| ③ いきいきスポーツの推進                 |     | ウィズスポーツ課           | スポーツ実施率（週1回以上運動した人の割合） | 29.3%<br>（H30） | —             | 51.6%         | 52.9%         | 55.1%         | 51.7%         | ↑            | 65%<br>（R10）        | ↑            | 地域体力づくり教室運営、各種スポーツ大会開催、スポーツ祭開催、トップアスリート教室開催、屋内温水プール利用料助成                                                                                                                                            | R6年度はオリンピックの開催などにより、市民のスポーツへの関心の高まりもあり増加したが、R7は例年並みの状況にとどまった。                                                        | 市民の方が参加しやすいよう教室や各種大会の運営を工夫し、スポーツに取り組む市民が増加するよう努める。                                                                                                         |
| 3－2 若い世代の経済的安定                |     |                    | 沼津しごと応援事業により市内企業に就職した数 | 12人            | 25人           | 20人           | 21人           | 16人           | 28人           | ↑            | 延べ100人              | ↑            |                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                      |                                                                                                                                                            |
| ① 沼津しごとの応援                    |     | 【再掲】 1－3－①         |                        |                |               |               |               |               |               |              |                     |              |                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                      |                                                                                                                                                            |
| ② 不妊・不育症治療費の助成                |     | 健康づくり課             | 不妊・不育症治療を受けた人の妊娠者数     | 82件            | 104件          | 74件           | 95件           | 111件          | 117件          | ↑            | 100件                | ↑            | 市広報紙、ホームページによる情報発信、医療機関へのポスター掲示依頼を行うとともに、窓口での丁寧な説明に努め本制度の周知及び利用活用を図った。                                                                                                                              |                                                                                                                      | 子を授かりたいと願う夫婦の経済的支援及び本市における出生率向上のため、医療機関や県と連携し制度周知に努めるとともに、丁寧かつきめ細かな説明を行う。また、国及び県の動向に注視し、情報更新とニーズ把握に努め適切な措置を検討していく。                                         |
| 3－3 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援     |     |                    | 婚姻数                    | 912件           | 776件          | 679件          | 677件          | 658件          | 623件          | ↓            | 1,000件              | ↓            |                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                      |                                                                                                                                                            |
| ① 出会い応援・結婚新生活支援               |     | ぬまづプロモーション課        | 婚姻数                    | 912件           | 776件          | 679件          | 677件          | 658件          | 623件          | ↓            | 1,000件              | ↓            | ・出会い交流イベント（3回）の開催<br>・結婚新生活支援事業の運用<br>・「沼津の出逢い応援課」サイトの運営 ほか                                                                                                                                         | ・人口減少に比例した婚姻組数の減少<br>・結婚に対する考え方の多様化に伴う婚姻数の減少 等                                                                       | ・地域資源を活用したイベントや参加者間のコミュニケーション促進を図る交流イベントの実施により、結婚を希望する方々の出会いの機会を創出する。<br>・しずおかマリッジ登録優待制度や結婚新生活支援補助金について、制度の認知向上を図るとともに、利用・申請の促進につなげる。                      |
| ② 不妊・不育症治療の助成                 |     | 【再掲】 3－2－②         |                        |                |               |               |               |               |               |              |                     |              |                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                      |                                                                                                                                                            |
| ③ 妊娠・出産の包括支援                  |     | こども未来創造課<br>健康づくり課 | 産後ケア利用者数（年間実数・産婦の利用割合） | 28件・約2%        | 21件・約2%       | 24件・約2%       | 33件・3.9%      | 40件・約4.7%     | 58件・約7.2%     | ↑            | 50件・5%              | ↑            | ・伴走型相談支援として、妊娠中期の妊婦にアンケートの回答を求めることで、必要時妊婦に産後ケア事業などを紹介する等、支援を必要とする妊婦に手厚くサポートを行うことができた。<br>・産婦連絡票等の活用により、医療機関をはじめとした関係機関とのネットワーク強化に努めた。<br>・母子手帳交付時、赤ちゃん訪問時にすべての妊婦・産婦に対し、産後ケア事業について説明することで、事業の周知を図った。 |                                                                                                                      | 妊娠期から子育て期にわたる総合相談や支援を実施することも、家庭センターで、支援を必要とするハイリスク妊婦の早期発見、適切な支援プランの策定、管理、関係機関との連携を実施している。産婦についてもサポート体制をより充実させるために、引き続き、赤ちゃん訪問等でニーズ把握に努め、必要時は産後ケア利用につなげていく。 |

第2期沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業 KPI一覧（全76事業）

| No.                  | 事業名                     | 担当課         | 数値目標                                | 基準値（R1）         | R3実績値         | R4実績値          | R5実績値               | R6実績値      | R7実績値      | 評価<br>（対基準値） | KPI<br>（重要業績評価指標R7） | 評価<br>（対KPI） | R7取組内容                                                                                                                            | R7実績値が基準値から悪化した理由／<br>KPI達成に至らなかった理由                                                                                                  | KPI達成に向けての今後の取組・認識について                                                                                                             |
|----------------------|-------------------------|-------------|-------------------------------------|-----------------|---------------|----------------|---------------------|------------|------------|--------------|---------------------|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3ー4 子ども・子育て支援の充実     |                         |             | 保育所入所待機児童数                          | 15人             | 3人            | 5人             | 5人                  | 7人         | 10人        | ↑            | 0人                  | ↓            |                                                                                                                                   |                                                                                                                                       |                                                                                                                                    |
| ①                    | 多様な保育サービス               | こども未来創造課    | 保育所入所待機児童数                          | 15人             | 3人            | 5人             | 5人                  | 7人         | 10人        | ↑            | 0人                  | ↓            | 乳幼児保育（40か所）、障がい児保育（19か所）、延長保育（28か所）、一時預かり保育（36か所）、等実施 ・金岡待機児童センター運営 ・幼保連携型認定こども園（9か所）、既存施設の認定こども園移行（大平保育所・大平幼稚園が統合しR7より認定こども園へ移行） | 特定の施設への入所を希望する保護者・児童の数が増えたことによる。（令和7年度：125人、令和6年度：113人、対前年度：12人の増）                                                                    | 既存の保育施設定員の精査・見直しや保育サービスの充実に向けた支援を行い、入所待機児童解消に努めていく。                                                                                |
| ②                    | 地域子育てでの支援               | こども未来創造課    | 子育てしやすい環境にあると感じている市民の割合             | 74.7%           | 86.8%<br>（R2） | 76.1%          | 76.9%               | 79.3%      | 82.4%      | ↑            | 80%                 | ↑            | 子育て支援施設における一時預かり保育、乳幼児・保護者同士のふれあいの場の創出、育児相談の実施 ・子育てサポートキャラバンの実施、ファミリーサポートセンター運営、親子絵本ふれあい事業等実施 ・ネットワーク会議開催（3回）                     |                                                                                                                                       | 子育てでの親の孤独感や不安感の解消に向けた拠点施設として、子育て支援センターを顕在化し、地域における子育て親子の交流等を支援していく。また、おむつのサブスクリプション導入や経済的負担軽減など、今後も子育て世帯の声に寄り添った施策を実施していく。         |
| ③                    | みんなで子育て支援               | こども未来創造課    | 児童ショートステイ事業                         | 56人/年           | 57人/年         | 40人/年          | 47人/年               | 124人/年     | 95人/年      | ↑            | 224人/年              | ↓            | 従来通り、国の制度に準じた運用を継続している。受入先との連絡方法の見直しやこども家庭センターが関わるケースの支援の一環として取り入れた。                                                              | 利用ニーズは高いが、年度ごとのバラつきはあると考える。また、利用者と受入先とのマッチングが必要であり、受入先が見つけられずに断ったケースが見受けられた。                                                          | 潜在的なニーズは多いため、ケースワークにおいて発掘を図る。併せて、利用可能な資源（受け入れ先）の増加、利用調整の方法を工夫していく。                                                                 |
|                      |                         |             | ひとり親世帯を対象とした支援制度の認識度                | -               | 59.0%         | 64.0%          | 68.1%               | 66.3%      | 68.1%      | ↑            | 25%                 | ↑            | 児童扶養手当受給者を対象に、ひとり親世帯を対象とした支援制度等の認識アンケートを実施した。                                                                                     | こども家庭センターと連携し、児童に関する相談を受ける中で、各種手当をはじめとする支援制度を案内するほか、ハローワークやひとり親サポートセンターなどの関係機関と連携し、ひとり親の自立支援のための給付金制度等について積極的に情報提供を行うなど、さらなる周知広報に努める。 |                                                                                                                                    |
| 3ー5 沼津らしい子ども教育の更なる推進 |                         |             | 特色ある教育活動が行われていると感じている保護者の割合         | 87.6%           | 80.9%         | 86.8%          | 86.0%               | 85.4%      | 85.1%      | ↓            | 90%                 | ↓            |                                                                                                                                   |                                                                                                                                       |                                                                                                                                    |
| ①                    | 学校教育・家庭教育の「地域総がかり」による推進 | 学校教育課、生涯学習課 | 住んでいる地域への関心が高まっている小中学生の割合           | 84.6%           | 80.2%         | 83.9%          | 81.8%               | 82.8%      | 85.1%      | ↑            | 90%                 | ↓            | 地域における交流活動や体験学習などの校外学習の推進と、外部人材の多様な教育力を活用した特色ある取組を展開する各小中学校に対し、交付金の交付を通じて支援した。                                                    | 子供たちを取り巻く環境が変化する中、小中学生共に家庭での過ごし方が多様化し、地域との接点が薄まっていることが背景にあると考えられる。特に、部活動に所属しない外部クラブへの入部者増加に伴う活動の分散化も背景にあると考えられる。                      | コミュニティ・スクールの推進と体験学習のより一層の充実を併せ、地域との交流を積極的に行っていく。                                                                                   |
|                      |                         |             | 特色ある教育活動が行われていると感じている保護者の割合         | 87.6%           | 80.9%         | 86.8%          | 86.0%               | 85.4%      | 85.1%      | ↓            | 90%                 | ↓            | 地域における交流活動や体験学習などの校外学習の推進と、外部人材の多様な教育力を活用した特色ある取組を展開する各小中学校に対し、交付金の交付を通じて支援した。                                                    | 共働きであったり、外国籍の保護者が増加したりしている中、地域の活動や学校の取組に関心を持ちにくい現状があると考えられる。また、どのような内容を「特色」として捉えたり理解したりするかも、保護者によって様々であることが考えられる。                     | コミュニティ・スクールの推進と地域ならではの特色を併せ、地域独自の取組を継続していく。                                                                                        |
|                      |                         |             | 学校運営協議会及び地域学校協働本部設置校区の割合            | 12%<br>（2校区：R2） | 24%<br>（4校区）  | 47.1%<br>（8校区） | 100%（17校区）          | 100%（17校区） | 100%（17校区） | ↑            | 100%<br>（17校区）      | ↑            | R7取組内容は地域と学校が連携する体制を構築し、協議会を開催し、支援活動等を実施した。                                                                                       |                                                                                                                                       |                                                                                                                                    |
|                      |                         |             | 家庭教育講座受講者数                          | 238人            | 0人            | 155人           | 114人                | 344人       | 210人       | ↓            | 1,100人              | ↓            | 市全域の保護者を対象とした講座の定期開催、学校や園などの地域での出前講座等を実施し、保護者の不安や悩みの軽減を図った。                                                                       | 本件は、実施する学校や園の規模に左右されやすいため、人数想定が難しかったこと、また目標値を小学校に絞ったことにより、実績値が限定的となってしまったことが理由として考えられる。                                               | 社会環境の移り変わりとともに保護者の意識も変化していることから、講座の新たな開催方法を試行しながら、保護者のニーズに応じた学びの機会を様々な方法で支援し、家庭教育力の更なる向上を目指していく。                                   |
| ②                    | 言語教育による読解力・表現力の育成       | 学校教育課、生涯学習課 | コミュニケーション能力が向上していると思う子ども、保護者、教員の割合  | 83.7%           | 83.7%         | 85.2%          | 86.6%               | 87.7%      | 85.1%      | ↑            | 95%                 | ↓            | 英語コミュニケーション能力向上のための本市独自の「パフォーマンス・デイ（1日パフォーマンス・テスト）」について、外部ALTと1人1台端末を組み合わせた手法により実施した。R7は、小学校でも一部試行実施を行い、R8からは小学校6年生へも対象を拡大する。     | 1人1台端末を活用した先進的な授業スタイルに対して、教員間で指導スキルのばらつきや負担感の差が生じてしまい、すべてのクラスで子どもたちに高い達成感を実感させることが難しかった。                                              | パフォーマンス・デイの実施を通して、当日のやり取りの動画を改めて振り返る時間を取ることで、生徒自身が学びを振り返り、次の学びの起点となる機会としている。また、全生徒のアンケートの結果を分析し、英語科主任会等のグループワークで、沼津市全体の授業改善を図っている。 |
|                      |                         |             | 一人あたりの図書貸出数                         | 39.8冊           | 40.2冊         | 40.7冊          | 42.9冊               | 41.3冊      | 41.0冊      | ↑            | 45冊                 | ↓            | 年間を通した全体研修、各校における選択研修の実施等、図書館支援員に対する研修のあり方を工夫し、充実を図った。                                                                            | 様々な媒体から多くの情報が得られる中で、図書等の活字離れが進んでいることや、電子図書が普及していることが背景にあると考えられる。                                                                      | 図書館支援員が、図書館担当の教員と連携しながら授業実践を行ったり、読書活動の啓発を行ったりできる体制づくりに努め、子供たちの本への興味や関心を高めていくようにする。                                                 |
|                      |                         |             | 「授業が分かる」と感じる小中学生の割合                 | 91.9%           | 89.1%         | 93.0%          | 90.0%               | 88.9%      | 92.3%      | ↑            | 95%                 | ↓            | 市内教員に授業づくり資料「自ら」を配布し、子供が主役となる探究的な学習について継続的に伝達し、計画訪問も実施。                                                                           | 教職員が多忙な中、授業作りの研修や教材研究の時間が減少している実態がある。                                                                                                 | 令和8年度からは、生成AIを活用した授業作りの支援ツールや、授業づくり資料「自ら」を、「読む資料」から「使える資料」へと変えて示した。                                                                |
|                      |                         |             | 全国学力調査（英語）                          | 県・全国平均を上回る      | 実施なし          | 実施なし           | 県より1.0低く、全国より0.4高い。 | 実施なし       | 実施なし       | —            | 県・全国平均を上回る          | —            |                                                                                                                                   |                                                                                                                                       |                                                                                                                                    |
| ③                    | ICT活用教育の推進              | 学校教育課       | 教職員に対するアンケート（「教職員に対する研修が十分行われている」）  | 未実施（R2）         | 88.1%         | 95.7%          | 84.0%               | 88.3%      | 88.3%      | ↑            | 90%                 | ↓            | 授業力向上に向けて、情報教育推進室の情報教育コーディネーターと教職員研修センターの研修アドバイザーが学校訪問し、学校ごとのニーズに即した指導を実施した。                                                      | 新たなアプリの導入がなく定例的な研修にとどまったため。また、研修会によることなく、日常の教職員間の交流の中でICTに関する情報交換等が常態化しているため。                                                         | 学校、教職員のICT活用スキルの底上げを図るため、各学校が抱える課題に応じた支援訪問の充実を図る。                                                                                  |
|                      |                         |             | 児童生徒に対するアンケート（「担任の教師がICTを十分活用している」） | 未実施（R2）         | 90.5%         | 92.6%          | 91.9%               | 92.1%      | 92.1%      | ↑            | 90%                 | ↑            | ICT活用方針に基づき、積極的な活用に取り組んだ結果、普通教室での活用にとどまらず、生徒会活動や地元企業による授業支援、庁内他課（自然観察会）との連携など、幅広い活用が図られた。                                         |                                                                                                                                       | 学校、教職員のICT活用スキルの底上げを図るため、各学校が抱える課題に応じた支援訪問の充実を図る。                                                                                  |
| ④                    | 高校生しゃべり場inぬまづの開催        | 生涯学習課       | 高校生（ハイボート）の自主活動の回数                  | 1回              | 2回            | 2回             | 2回                  | 2回         | 1回         | →            | 3回                  | ↓            | 9/7にららぽーと沼津を会場とした「高校生しゃべり場inぬまづ」を実施し、高校生14人が参加した。また、沼津ハイボートが主体的に実施する「ハイクフェス」などにおいて、助言やフォローを行い、活動を推進した。                            | 2つの自主活動を予定していたが、1つは天候不良により中止となった。また、沼津ハイボートは年度途中でメンバーが代替わりするが、令和7年度は新規加入者が少なかったため、積極的な活動に至らなかった点も、理由として考えられる。                         | しゃべり場等の事業について、若年層を中心に効果的なPRを行い、より多くの高校生の参画を促進し、各高校の垣根を超えた幅広い交流機会の拡大を目指していく。また、沼津ハイボートを継続的に支援し、活動の更なる活性化を図る。                        |

第2期沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業 K P I ー覧（全76事業）

資料2ー3

| No.                   | 事業名                             | 担当課               | 数値目標                        | 基準値（R1）                  | R3実績値           | R4実績値           | R5実績値           | R6実績値           | R7実績値                    | 評価<br>（対基準値） | KPI<br>（産業業績評価指標R7） | 評価<br>（対KPI） | R7取組内容                                                                                                                                                                                                                                                                                               | R7実績値が基準値から悪化した理由／<br>KPI達成に至らなかった理由                                                     | KPI達成に向けての今後の取組・認識について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------|---------------------------------|-------------------|-----------------------------|--------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------------------------|--------------|---------------------|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4                     | 新しい時代に合った、安全・安心で誰もが暮らしやすい地域をつくる |                   |                             |                          |                 |                 |                 |                 |                          |              |                     |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 4ー1                   | 災害に強い安全・安心な生活環境づくり              |                   | 災害に備えている市民の割合               | 52.1%                    | 57.2%           | 62.6%           | 64.1%           | 60.6%           | 68.9%                    | ↑            | 60%                 | ↑            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                       |                                 |                   | 津波避難困難地区の解消                 | 6箇所                      | 6箇所             | 6箇所             | 6箇所             | 6箇所             | 6箇所                      | →            | 0箇所<br>（R4）         | ↓            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| ①                     | 安全な地域づくりの推進                     | 危機管理課             | 地域別災害避難行動作成率                | 43%                      | 46%             | 79%             | 100%            | 100%            | 100%                     | ↑            | 100%                | ↑            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                          | 100%達成                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                       |                                 |                   | 津波避難路の点検及び再整備の割合（全105箇所）    | 79%                      | 94%             | 100%            | 100%            | 100%            | 100%                     | ↑            | 100%<br>（R4）        | ↑            | 津波避難施設整備補助金を活用した整備（避難路整備1件）                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                          | 全105箇所から全138箇所に増加したため、引き続き、安全な避難路整備を実施していく                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| ②                     | 自主防災会の活性化                       | 危機管理課             | 自主防災組織による避難所運営マニュアル策定数      | 30箇所                     | 40箇所            | 43箇所            | 43箇所            | 45箇所            | 45箇所                     | ↑            | 49箇所                | ↓            | 避難所運営マニュアルの策定支援                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 未策定の自主防災組織に対し策定を働きかけているものの、自治会役員の交代等により継続的な取組が難しいことや、策定に一定の時間と労力を要することから、KPIの達成には至らなかった。 | 引き続き、策定支援を行う                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| ③                     | 地震防災の啓発                         | 危機管理課             | 防災講座等年間参加者数                 | 3,350人                   | 988人            | 2,079人          | 3,736人          | 4,297人          | 3,277人                   | ↓            | 5,500人              | ↓            | 防災訓練や講話等の出前講座実施                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 市民、自治会及び事業所等からの講座依頼件数の減少や、災害対応に伴う講座の中止による。                                               | 引き続き、地域・学校等での出前講座を実施してく                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| ④                     | 総合的治水対策の整備                      | 河川課               | 床上浸水被害想定件数の削減               | 30件                      | 19件             | 19件             | 19件             | 19件             | 19件                      | ↑            | 0件                  | ↓            | 大平江川排水機場築造工事（排水機場、設備、電気室等）<br>井戸川雨水貯留地築造工事（堤体本体等）<br>西添町第二排水機場築造工事（排水機場等）                                                                                                                                                                                                                            | R7取組内容のほか、総合的治水対策に関するプランに位置付けられた他の取組も実現できた時にKPI達成となるため                                   | 財源確保に努め確実な事業進捗を図る                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| ⑤                     | 観光拠点における来訪者の安全確保                | 観光戦略課             | 大規模修繕・工事総数                  | 2件                       | 3件              | 8件              | 4件              | 9件              | 4件                       | ↑            | 延べ16件               | ↑            | ・観光施設（資源）の適切な管理運営<br>・観光施設の計画的な修繕の実施                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                          | 観光客の受け入れ環境整備を計画的に進めることに加えて、適切な管理・運営、修繕を実施することで、来訪者の安全確保に努める。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 4ー2 便利で快適な居住環境の整備     |                                 |                   | 公共交通利用者数                    | 45,837人<br>（H30）         | 32,995人<br>（R2） | 35,133人<br>（R3） | 37,685人<br>（R4） | 39,812人<br>（R5） | 40,492人<br>（R6）          | ↓            | 45,900人             | ↓            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| ① 公共交通ネットワークの形成       |                                 | 【再掲】2ー1ー⑤         |                             |                          |                 |                 |                 |                 |                          |              |                     |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| ② 沼津駅周辺総合整備           |                                 | 【再掲】2ー1ー①         |                             |                          |                 |                 |                 |                 |                          |              |                     |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| ③ 総合体育館等の整備           |                                 | 【再掲】2ー1ー②         |                             |                          |                 |                 |                 |                 |                          |              |                     |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| ④                     | 中間処理施設の整備                       | 新中間処理施設整備室        | 新処理施設整備                     | 0%                       | 0%              | 0%              | 0%              | 0%              | 0%                       | —            | 100%<br>（R11）       | —            | 敷地造成工事を完了させるとともに、新たな中間処理施設の整備・運営等を担う事業者との契約を締結した。                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                          | 新たな中間処理施設の建設工事を進めるとともに、当該工事に関する監理業務に取り組む。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| ⑤ 空き家対策の推進            |                                 | 【再掲】2ー2ー⑥         |                             |                          |                 |                 |                 |                 |                          |              |                     |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| ⑥                     | 沼津市市営住宅今沢団地の建替え                 | 住宅政策課             | 今沢団地整備率                     | 0%                       | 0%              | 0%              | 0%              | 0%              | 0%                       | —            | 100%<br>（R13）       | —            | 第1工区の建設工事に着手した。                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                          | 引き続き、要求水準書及び提案書の達成状況を確認していく。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 4ー3 共に支え合う地域コミュニティの充実 |                                 |                   | 地区センターにおけるコミュニティ利用件数        | 3,750件                   | 2,517件          | 3,259件          | 3,361件          | 3,434件          | 3,465件                   | ↓            | 4,000件              | ↓            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| ①                     | 地域コミュニティの活性化                    | 地域自治課             | 地区センターにおけるコミュニティ利用件数        | 3,750件                   | 2,517件          | 3,259件          | 3,361件          | 3,434件          | 3,465件                   | ↓            | 4,000件              | ↓            | 市内18か所の地区センターにおいて、各地区コミュニティ推進委員会を指定管理者とし、コミュニティ活動の拠点として利用推進を呼びかけた。また、利用しやすい施設管理（修繕等）を行った。                                                                                                                                                                                                            | 新型コロナウイルス感染症により地域行事が中止され、利用件数が大きく減少したが、イベントなど徐々に増えており利用件数も回復傾向にある。                       | 地区のコミュニティ活動の活性化に向け、人材育成講座、地域活性化事業補助等により支援を行っていく。また、地区センターにおける飲食等、機能や運用の拡充について、指定管理者の意見も聴きながら検討していく。                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| ②                     | 防犯のまちづくり                        | 生活安心課             | 市内刑法犯認知件数                   | 1,421件                   | 1,060件          | 1,117件          | 1,209件          | 1,128件          | 1,200件                   | ↑            | 1,200件              | ↑            | ・防犯教室（あぶトレ！）の開催<br>・自治会防犯灯、放送設備への助成<br>・通学路防犯カメラ設置への助成<br>・迷惑悪質電話防止装置への助成<br>・広報啓発活動<br>・地域防犯活動の支援<br>・「ながら見守り活動」の推進<br>・（新規）一戸一灯運動の一部地域での実施<br>・特殊詐欺被害の増加を受け、沼津警察署、沼津市、清水町及び沼津金融機関防犯協会が「特殊詐欺被害防止総合対策宣言書」に署名し、共同宣言を行った。（R8.2）<br>⇒市職員を対象とした研修会の実施（講師：刑事第二課長、生活安全課長）、県警作成の動画の放映（ららぽーと沼津、ラークーンの大型モニター） |                                                                                          | 防犯灯設置や通学路防犯カメラ設置、迷惑電話対策機器購入等への助成により、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めるとともに、警察や防犯協会と連携し、防犯活動や広報啓発活動等により、市民一人一人の防犯意識の向上を図る。また、「ながら見守り活動」への参加促進により、新たな防犯の担い手の確保を図る。<br><br>令和7年度からの新規事業として一部地域で実施している「一戸一灯運動」について、地域の任意のボランティア活動として市内全域での実施をすることにより、まずは自らの家周辺を明るくすることで防犯意識を向上し、ひいては地域全体の防犯力を高める運動として定着させたい。<br><br>特殊詐欺被害が依然として多いことから、令和8年2月に行った共同宣言をより具体的な施策として展開するため、沼津警察署等関係団体と連携し取り組んでいく。 |
| ③                     | フレイル対策の推進                       | 長寿福祉課             | フレイルチェックの参加人数               | 55人                      | 142人            | 262人            | 580人            | 863人            | 901人                     | ↑            | 440人                | ↑            | 千本・三浦戸田・かどいけの各地域包括支援センター圏域においてフレイルチェックを実施。かなおか・かめき・第五・原・片浜今沢・あしたか・きせがわ圏域は業務委託にてフレイルチェックを実施。                                                                                                                                                                                                          |                                                                                          | 今後も継続してフレイルチェックを実施                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                       |                                 |                   | フレイルチェックに2回以上参加した方の意識・行動の変容 | 59.8%                    | 77.3%           | 34.6%           | 60.4%           | 59.4%           | 59.6%                    | ↓            | 70%                 | ↓            | 千本・三浦戸田・かどいけの各地域包括支援センター圏域においてフレイルチェックを実施。かなおか・かめき・第五・原・片浜今沢・あしたか・きせがわ圏域は業務委託にてフレイルチェックを実施。                                                                                                                                                                                                          | 従来の実施方法では、フレイルを気を付ける意識付けにはなっても、行動変容までには至りにくいと考えられる。                                      | フレイルチェック短縮版になることから、チェックの実施後に、次回までの目標など検討する時間を作るなど振り返り方法の検討                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| ④                     | 高齢者地域包括ケアシステムの整備                | 長寿福祉課             | 全国統一の評価指標による地域包括支援センターの事業評価 | 644.9点                   | 664.4点          | 657点            | 666.1点          | 668.8点          | 790点                     | ↑            | 665点                | ↑            | 総合相談の内容分析や地域ケア会議の開催を通じ、課題解決に向け地域住民や医療福祉の専門職等と連携し、地域包括ケアシステムの構築に取り組んだ。<br>※評価項目の細分化（R7分は、100点×8項目に増加）により、令和7年実績値より800点満点の数値に変わっている。                                                                                                                                                                   |                                                                                          | 医療・福祉・介護の人材不足の解消に向けた取り組みを継続していく。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| ⑤                     | 地域福祉の推進                         | 福祉企画課             | ちよいてつボランティア利用登録者数           | 20人                      | 73人             | 130人            | 185人            | 235人            | 255人                     | ↑            | 延べ100人              | ↑            | 民生委員、地区社協役員等へ周知啓発を行い、広報に努めた。                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                          | KPI達成。地区社協等と連携し、利用促進を行う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                       |                                 |                   | ちよいてつボランティア利用回数             | 148回                     | 1,310回          | 2,725回          | 3,279回          | 3,320回          | 2,591回                   | ↑            | 延べ750回              | ↑            | 30分の作業を1回で算定。ゴミ捨てなどちょっとした生活上の困りごとにボランティアが対応した。                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                          | KPI達成。今後もボランティア育成とニーズのマッチングを継続する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| ⑥                     | 民間支援まちづくりファンド                   | 地域自治課             | ソフト事業における持続的な活動事業者（個人・団体）数  | 8事業者                     | 9事業者            | 7事業者            | 3事業者            | 6事業者            | 8事業者                     | →            | 延べ18事業者             | ↑            | 市民等が自発的に行う活動の持続的な事業の創出を図るため、補助金支援、選考段階での専門家による助言等を行った。                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                          | 達成に向けて、引き続き補助金支援、選考段階での専門家による助言等を行うとともに、採択団体が実施する事業の周知等支援を行っていく。                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| ⑦                     | 多文化共生の推進                        | 地域自治課             | 沼津市が住みやすいと感じる外国人住民の割合       | 未実施<br>（R2）              | 42人に実施<br>98%   | 63人に実施<br>94%   | 71人に実施<br>99%   | 71人に実施<br>93%   | 72人に実施<br>90%            | ↑            | R3実績値の<br>20%増      | ↑            | 多言語相談窓口の運営、日本語教室の実施、国際交流フェアの開催、多文化共生ボランティア制度の運営、外国人向けSNSによる情報発信等を行った。                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                          | 達成に向けて引き続き、多言語相談窓口の運営、日本語学習機会の提供、外国人と市民との交流イベント開催等の事業を実施していく。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 4ー4 新しい時代の流れを活用する     |                                 |                   | スマートシティ関連プロジェクト数            | 0件<br>（R2）               | 延べ0件            | 延べ8件            | 延べ9件            | 延べ11件           | 延べ13件                    | ↑            | 延べ12件               | ↑            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| ①                     | 自然環境の保全                         | 環境政策課             | 特定地域における希少種の減少率             | 調査において確認された希少種の数<br>（R3） | 26種<br>（浮島ヶ原）   | 10種<br>（門池公園）   | 5種<br>（長井崎周辺地域） | 6種<br>（香貫山）     | CR・EN・VU<br>9種<br>（浮島ヶ原） | —            | 0%                  | —            | 浮島ヶ原における生物分布調査を実施。静岡県版レッドリストCR・EN・VUの絶滅のおそれがある生物、9種の生息が確認された。                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                          | 自然環境の保全に向け、市内における希少種の生息状況を把握をするため、生物分布調査を実施していく。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| ②                     | 3Rの推進                           | クリーンセンター          | 一人一日当たりごみ排出量                | 875g                     | 834g            | 828g            | 805g            | 772g            | 766g                     | ↑            | 864g                | ↑            | ごみの分別・減量ガイドブック、各種広報、出前講座等でごみの分別と減量について周知するとともに、「メルカリShops」をスタートさせる等、民間業者の活用により、ごみのリユースに努めた。                                                                                                                                                                                                          |                                                                                          | さらなる減量のため、環境教育の機会に3Rに関して市民に周知する。また、令和8年度にごみ減量標語を更新し、年間収集計画表等に記載することで、市民の意識向上を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| ③                     | スマートシティの推進                      | 政策企画課ほか           | 推進ビジョンに基づくプロジェクト数（実証実験を含む）  | 0件                       | 延べ0件            | 延べ8件            | 延べ9件            | 延べ11件           | 延べ13件                    | ↑            | 延べ12件               | ↑            | ・電子申請<br>・自動運転プロジェクト<br>・LOVE NUMAZU2025へのブース出展 ほか                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                          | X-Tech NUMAZU DJジョンに基づくプロジェクト（実証実験を含む）を、主体となる担当課と協議会会員とで連携して取り組み、まちづくりと連動した産学官民の共創によるスマートシティの実現を推進する。                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| ④                     | 行政ICT利活用                        | 政策企画課、デジタル戦略課、人事課 | 削減業務時間                      | 0時間                      | 1,450時間         | 72時間            | 882時間           | 2184時間          | 3056時間                   | ↑            | 1,460時間             | ↑            | 対応業務数が令和6年度から処理件数が6,074件増加したことにより、大幅に削減時間が増えた。                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                          | RPAのさらなる利用拡大を図るため、次期RPA導入と併せ、利用環境を強化する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| ⑤                     | キャッシュレス決済導入の推進                  | 商工振興課             | 導入件数（セミナー参加者）               | 0件                       | 88件             | 20件             | 15件             | —               | —                        | —            | 延べ100件              | ↑            | （R5年度事業完了）                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |